

まずは有効茎の確保！浅水管理で分けつ促進！ 土壤還元（ワキ）が進んでいるほ場は直ちに水交換！

低温の影響で葉齢及び分けつが進んでいない状況です。

有効茎の確保に向けて、今すぐ、ほ場に足を運び、生育に応じた水管理を徹底しましょう。

生育状況（6月10日現在、西置賜農業技術普及課生育診断圖）

平坦部「はえぬき」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	28.1	95	やや短い
茎数(本/m ²)	177	80	少ない
葉数(枚)	6.4	-0.5	少ない
葉色(SPAD)	31.2	-6.7	淡い

「つや姫」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	27.6	88	短い
茎数(本/m ²)	169	68	少ない
葉数(枚)	6.3	-0.7	少ない
葉色(SPAD)	33.8	-4.4	淡い

「雪若丸」の生育

項目	飯豊町		概況 (指標値との比較)
	調査値	指標比・差	
草丈(cm)	26.4	105	やや長い
茎数(本/m ²)	245	102	並
葉数(枚)	7.0	+0.6	多い
葉色(SPAD)	38.2	+1.2	やや濃い

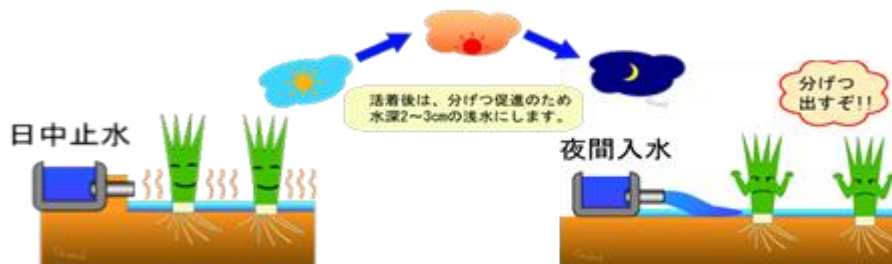
1か月予報（6月9日仙台管区气象台発表）

気温：6/11～6/17：低い見込み
 6/18～6/24：高い見込み
 6/25～7/8：平年並か高い見込み
 降水量：ほぼ平年並の見込み
 日照時間：ほぼ平年並の見込み

きめ細やかな水管理で有効茎数を確保！

○分けつを促進し、有効茎数を確保する重要な時期です。分けつ促進のための、水管理のポイントは以下の2つです。

- ① 浅水管理（水深 2～3cm） ② 昼間止水・夜間かんがい



- 6月18日以降が高温の予報となっており、土壤還元が進むことが懸念されます。夜間落水などで根圏環境の改善に努めるとともに、**異常還元（ワキ）がみられるほ場では、速やかに水交換や一時的な落水（2～3日の田干し）**を行います。
- 茎数が不足している場合は、水交換または夜間のみの落水とします。
- **除草剤散布後7日間は落水せず必ず止水**としてください。

有効茎数確保後は、速やかに作溝・中干し！（6月25日には中干し開始）

- 移植時期によりほ場ごとの生育のばらつきが大きくなっています。
- 有効茎数を確保したほ場から遅れずに作溝・中干しを行いましょ。**
- 作溝は作土が「ようかん状」の硬さで行い、作土がしまってから再度実施すると作溝の効果が高まります。
- 中干しの目安はほ場に小ヒビが入る程度**です。葉色や生育量に応じて中干しの強度（乾き具合）を調節します。
- 中干し後は、走り水で飽水管理をした後、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替えます。

品種別の目標茎数の目安（本/株）

品種	1株あたりの目標茎数	
	坪70株植えの場合	
はえぬき	23本	
つや姫	20本	
雪若丸	27本	
ひとめぼれ	24本	
あきたこまち	22本	

	60株/坪	70株/坪
コシヒカリ	23本	20本

【作溝・中干しの効果】

- ◎無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上、倒伏軽減
- ◎間断かんがいの効率化 → 地耐力の向上

取り置き苗で平年より早くいもち病を確認！

- 梅雨に入ると、いもち苗の感染に好適な日が増加します。**補植用取り置き苗は、葉いもちの感染源となります。早急に処分しましょう。**
- 箱施用剤による葉いもちの防除を行っていない場合は、**6月20日までに遅れず本田施用剤（粒剤等）を散布**しましょう。



葉いもちの病斑

斑点米カメムシ類の発生がやや多い予想！（県病害虫防除所発生予察情報）

- 畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行い、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。
- 水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生源になります。残草対策もしっかり行いましょう。



アカヒゲホソドリカスミカメ アカスジカスミカメ

農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故ゼロへ！

こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった無理のない作業を心掛けましょう。

山形県農薬危害防止運動 実施中！ 農薬を使用した際はしっかり記帳！

農薬を使用する際には、使用基準を再確認し正しく使いましょう。